

REVEL[®] CONCERTA[™]2

B10サブウーファー 取扱説明書



重要な安全上の指示

1. 説明書を読む。
2. 手順を守る。
3. 全ての警告に留意する。
4. 全ての指示に従う。
5. 水の近くでこの装置を使用しない。
6. 乾いた布のみで手入れをする。
7. 通気開口部をふさがない。メーカーの説明書に従って設置する。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブまたは発熱する他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しない。
9. 極性プラグまたは接地タイププラグの安全目的を無視しない。極性プラグには2つのブレードがあり、片方がもう一方よりも広い。接地タイププラグには2つのブレードがあり、3番目のアースが分岐している。広いブレードまたは3番目のピンは安全のために取り付けられている。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気工に相談して旧式のコンセントを交換する。
10. 電源コードの上を歩いたり、挟んだりしない(特にプラグ、コンセントおよび装置から出ている部分)ように保護する。
11. メーカーによって指定された付属品のみを使用する。
12. メーカーによって指定された、または装置に同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用する。 カートを使用する場合、転倒によるけがを避けるためにカートに載せて装置を移動する際には注意を払う。
13. 雷雨の間、または長期間使用しない場合はこの装置のプラグを抜く。
14. 資格のあるサービス提供者に全ての修理を任せる。電源コードまたはプラグが破損した、装置に液体がこぼれたまたは物が落ちた、または装置が雨または湿気にさらされて正常に作動しない、または装置を落としたというように、装置が何らかの形で破損した場合、修理が必要である。
15. この装置を水滴または水しぶきにさらさないようにして、花びんのように液体でいっぱいの物体を装置の上に置いていないことを確認する。
16. 電源プラグは機器の電源を切る装置として使用されていて、それはいつでも操作できる状態にしておく。
17. 警告:装置は保安用アース接続と共に電源ソケットコンセントに接続されているものとします。



矢印の雷鳴記号の付いた正三角形は、人への電気ショックの危険が十分ある、製品エンクロージャー内の絶縁されていない「危険電圧」の存在をユーザーに警告するためのものです。

警告:エンクロージャー内部にはユーザーが修理可能な部品はないので、電気ショックのリスクを減らすため、カバー(または背面)を取り外さないでください。資格のある人物に修理を任せてください。



感嘆符の付いた正三角形は、製品に付属している資料内での重要な操作およびメンテナンス(修理)上の指示の存在をユーザーに警告するためのものです。

警告:火災または電気ショックのリスクを減らすため、この装置を雨または湿気にさらさないこと。
操作温度35°C。

REVEL® CONCERTA 2™ B10サブウーファーについて

ステレオ・ミュージックまたはホームシアター・エンターテインメント・システムのRevel Concerta 2シリーズ・ラウドスピーカーを完全に強化したハイパフォーマンス・パワード・サブウーファー、Revel Concerta 2 B10をお買い上げいただき、ありがとうございます。B10の調節可能なコントロールにより、どんなシステムやリスニングルームでも、サブウーファーのパフォーマンスを最適化することができます。

1-1/2インチ(26mm)ピークトウピーク・エクスカーションと800Wアンプを装備した、10インチ(254mm)ウーファーを特長として B10サブウーファーは最低周波数で高出力レベルでも、非常に歪みの少ないリアルな重低音を再生します。

上質のフォルムと機能を組み合わせた、B10特許取得ウーファーは高出力レベルでの高強度のポリセルロース・ファイバー・ダイアフラムで製作されています。スパイダーはリニアリティの向上に最適な形状で、優れた強度のCorex/cottonブレンドを組み合わせています。モーターには大口径セラミックマグネット・モーターシステムが含まれます。Kapton®ボビンに2.6インチ(50.8mm)コッパー・ボイスコイルが巻かれており、驚くほどの許容入力とコンプレッションからの自由を実現しています。ベントされたセンターポールが放熱を容易にし、より効率的な高許容入力とローコンプレッションが可能になります。

B10キャビネットは中密度ファイバーボード(MDF)壁と徹底的な内部ブラシングで構成されていて、キャビネットによるカラーレションを軽減しています。最適な安定性を持ち、どんな床面への設置にも対応するラバーパッドの足をキャビネット底部に取り付けます。

1996年から、Revelブランドはラウドスピーカー設計の最先端でした。Harman International(ハーマン・インターナショナル)の広範な研究と設計設備に支えられて、Revel Concerta 2シリーズスピーカーは以下のような最先端の開発ツールの恩恵を受けています：

- マルチチャンネル・リスニング研究所ではダブル・ブラインドのリスニングテストができます。
- レーザー干渉計により、詳細なドライバーとキャビネット分析が可能です。
- 大規模な複数の無響室により、精密なテストと測定が実現します。
- 有限要素解析により、最先端のラウドスピーカー・モデリングが可能です。
- ステレオ・リソグラフィ装置が厳しい精度の実現に役立ちます。

輝かしい系統のRevel Ultima™とPerforma™シリーズサブウーファーに加えて、このサブウーファーはハイクオリティ、ハイパフォーマンスのラウドスピーカーとサブウーファーというRevelの評判を実証します。

B10の特長

- 低歪みで高出力性能
- 特許取得10インチ(254mm)陽極酸化アルミニウム・ダイアフラム・ウーファー
- 内蔵800W RMSアンプ
- ラインレベルRCA入力
- 先進的ウーファー駆動構造
- コンプレッションのないダイナミックレンジの大口径ボイスコイル
- 位相スイッチ
- ローパス周波数コントロール
- パラメトリック・ルーム・イコライゼーション・コントロール
- 塗装仕上げをしたエレガントなキャビネット・デザイン

サブウーファーの設置

300Hz以下のラウドスピーカーとリスナーの位置がサウンド再生に大きく影響します。全ての部屋には定在波が存在し、これによって特定の周波数が強調または減衰されます。この複雑なパターンが組み合わされて、低周波での驚異的なサウンド・カラーレションを引き起こす可能性があります。

Concerta 2 B10のイコライゼーション・コントロールはこれらの効果の補正に役立ちますが、どんな電子システムでも、それだけでは部屋の音響特性の劇的な効果を完全に補正することはできません。どの部屋でも、特定周波数が「無効」になる位置があります。これらのサウンド・キャンセレーションは「ブラックホール」のようなものであり、どんなイコライゼーションでも満たすことはできません。ラウドスピーカーとリスニング・ポジション双方の慎重な位置取りにより、常に最適な結果が得られます。コンピューター・モデリング・プログラムの使用と試行錯誤した測定によりお好きな位置を決定することができます。最適な結果のために、まずラウドスピーカーとリスニングにとっての最適な位置を見つけ、それからB10イコライゼーション・コントロールを使用し、微調整してください。

サブウーファーとリスナーにとって適した位置を決定するため、高解像度の室内応答測定をすることを推奨します。Revel公認販売店は、確実に最適な結果を出す適切な装置を使用して、適切な測定をすることができます。

注意: 多くのサウンド測定機器はリスニングルームで低周波パフォーマンスを適切に測定できるほど正確ではありません。それは、多くの場合、部屋の境界が非常に狭帯域のピークとディップを持ったモード(定在波)を引き起こす可能性があるからです。Revel公認販売店に確かめて、お持ちの測定装置が正確で高解像度測定に適していることをご確認ください。



サブウーファーの設置に関する注意点

典型的なホームシアター・ルームの限られた領域でサブウーファーを使用する場合、部屋の中で起こる反射、定在波、吸収は低音域レスポンスにピークやディップを生み出し、それは部屋でのリスナーの位置によって大きく変わります。1か所に座ったリスナーは、その位置でのレスポンス・ピークによって生じた過剰な低音を聞くことがあります。数フィートだけ離れた他のリスナーは、その位置でのレスポンス・ディップによって生じた相当な低音が欠如したサウンドを聞く可能性があります。

室内のサブウーファーの位置は(部屋の面積に加えて)これらの低音域レスポンス・ピークおよびディップの発生に大きく影響します。慎重にサブウーファーを設置するだけでは部屋全体の低音域レスポンスのピークおよびディップを補正することはできませんが、慎重に設置すれば、最大のレスポンス・ディップを排除またはかなり減少させることができます。

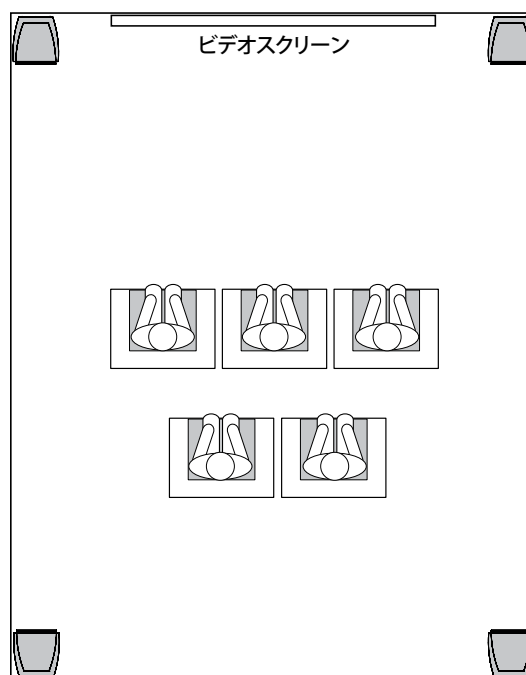
イコライゼーションは大きなレスポンス・ディップの補正に使用することはできないので、適切なサブウーファーの設置により、できるだけ部屋全体のレスポンス・ディップを減少させることが重要です。例えば、13dBのレスポンス・ディップを回復しようとしてイコライゼーションを使用すると、サブウーファー・アンプがその周波数の20倍の出力を実現する必要があります。これはサブウーファー・アンプを急速にクリッピング状態までオーバードライブする可能性があり、オーディオ・クオリティーを著しく劣化させます。

どの部屋でも、サブウーファーを部屋の隅に置けば大きな低音域レスポンス・ディップの発生を最小限にでき、ほとんどの大きな低音域レスポンス・ピークを生み出すこともできます。

弊社は部屋のサイズにかかわらず、マルチ・サブウーファーの設置を強くお勧めします。シングル・サブウーファーを設置しても、部屋全体のバス・パフォーマンスが少しは一定します。マルチ・サブウーファーを使用すれば様々なリスニング位置のいくつかのルームモードをキャンセルでき、結果としてリスニングエリア全体の低周波サウンド・クオリティーがより一定になります。さらに、多くの場合、大きなレスポンスディップ(たいていイコライゼーションによって補正することはできない)がなくなるようにシングル・サブウーファーを設置することは不可能です。2基または3基以上の適切に設置したサブウーファーを使えば、ほとんどの場合レスポンスのこうしたディップを排除することができます。

4基のサブウーファーの設置

4基のサブウーファーを設置する場合は、部屋の4隅に各サブウーファーを置いてください。4つ以上の隅がある部屋では、リスニングエリアに最も近い4隅を選択してください。

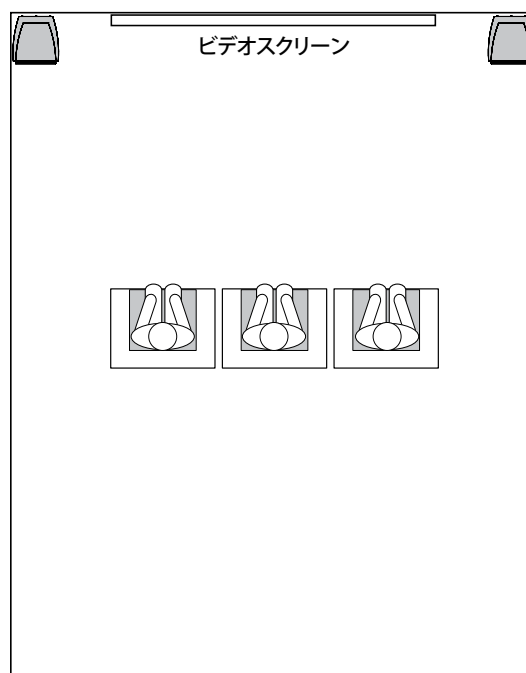


2基のサブウーファーの設置

2基のサブウーファーの設置は部屋の座席の配置によって決まります。

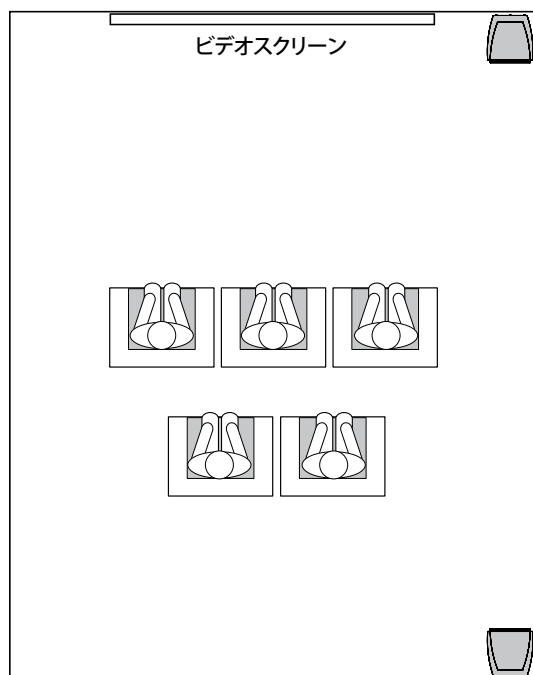
座席が1列の部屋

サブウーファーを座席の前面の両隅に設置すれば、座席の1列全体に最も安定したバス・パフォーマンスが得られます。



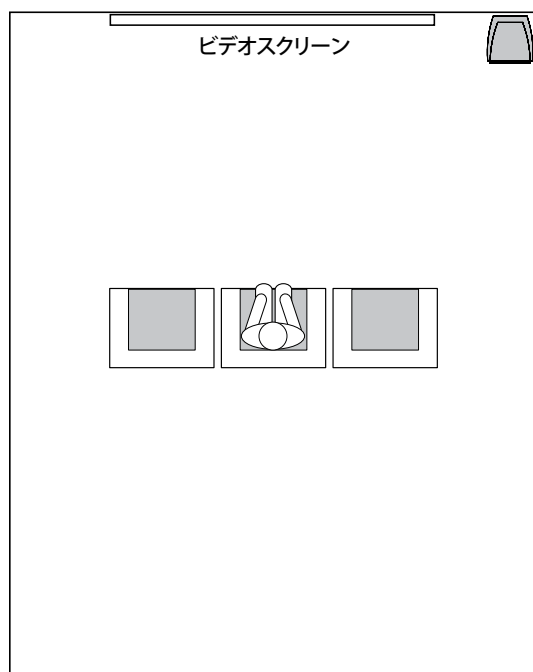
複数列の座席がある部屋

1基のサブウーファーを座席前面のどちらかの隅に設置し、もう1基のサブウーファーを同じ側面の後ろの隅に設置すれば、複数列の座席全体に最も安定したバス・パフォーマンスが得られます。



シングル・サブウーファーの設置

シングル・サブウーファーを設置する場合、部屋の座る場所全体で最高の結果が得られる位置を発見するために、異なった位置を試す準備をしてください。前例のように、サブウーファーをどこか1隅に設置すると深いレスポンス・ディップの数(イコライゼーションでは補正できない)が最も少なくなります。



リスニングとスピーカーの位置はどちらも同じくらい重要なので、試行錯誤のプロセスには時間がかかることがあります。しかし得られる音は、理想的な設置位置を決定するのに時間をかけただけの価値が十分あります。Concerta 2 B10のイコライゼーション・コントロールを適切に調整すれば、ピーク(サブウーファーのクロスオーバー周波数以下)を最小限にするか、排除することができますが、ディップはイコライゼーションでは補正できないことを覚えておいてください。従って、最も重要な目標はディップの数(そして度合い)を最小限にできる位置を発見することです。Revelラウドスピーカーおよびサブウーファーの適切な設置場所を決定するのにサポートを求める場合は、Revel公認販売店にご連絡ください。

B10サブウーファーの設置後、相当なバス内容を含む、聞き慣れた音楽または映画ソースの再生を開始してください。基本的なリスニング・ポジションで聴き、システム全体のボリュームを快適なレベルまで上げてください。お望みの低音の調和が得られるまでサブウーファー・レベル(ボリューム)コントロールを調節してください。また、低い男性の声の録音を再生してサブウーファー・レベルをテストしてください。サブウーファー・レベルの設定が高すぎると、結果として不自然に「厚みのある」または「ブーミー」なボーカル再生になります。低音域レスポンスは部屋でオーバーパワーにしないで、全体が適切なレンジにわたる調和の取れたブレンドになるように調節します。

サブウーファー出力にマルチチャンネル・レシーバーまたはプロセッサをお使いの場合、プロセッサのサブウーファー・レベル調整を使用することが望ましいです。B10レベル・コントロールを「LFE」ポジションの表示にセットしてください。

注意:サブウーファーがスムーズにシステム全体と一体化するのに必須なので、左右のフロントスピーカーに関するサブウーファー・レベルの設定は非常に重要です。レベルを高く設定しすぎると、結果的に低音域レスポンスがオーバーパワーになります。レベルを低く設定しすぎると、B10サブウーファーのメリットがなくなります。

接続する

警告:全てのシステム・コンポーネントの電源がオフにならない限り、絶対に接続したり、接続を切らないでください。

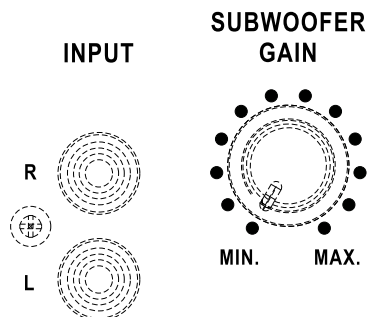


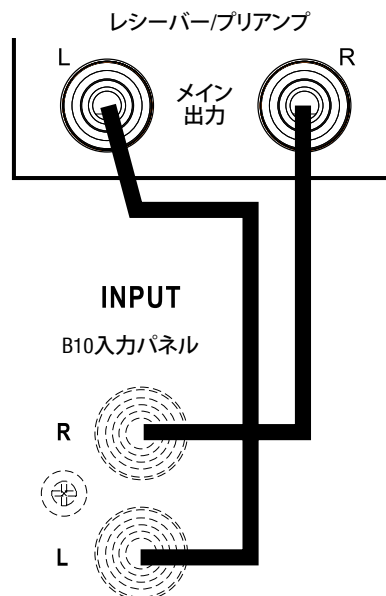
図8:リアパネル入力コネクタ

B10サブウーファー・コネクタはリアパネル上にあります。

プロセッサの中には誤ってサブウーファー出力をLFEと分類しているものもあり、他のプロセッサはLFEとサブウーファー出力の両方を備えています。ラベルの付いていないサブウーファー出力がある場合は、LFE出力を使用してください。出力でLFEとサブウーファー両方の接続がラベル付けされている場合は、サブウーファー出力を使用してください。

B10のリアパネル上のL(左)とR(右)コネクタは2チャンネル・アプリケーションで使用することができます。ここには専用のサブウーファー出力は存在しません。これらの入力、リアパネル上の調節可能なローパス・クロスオーバー・コントロールによってクロスオーバーさせることが可能です。ローパス・フィルターを使用可能にすれば、大部分の2チャンネル・システムがメインスピーカー上でハイパス・フィルタリングを実行しない(サブウーファーを使用する利点を最小限にしてしまう)という現象を補正するのに役立ちます。

2チャンネル・アプリケーション-メインの出力に接続する



メイン出力への接続

1. 図10にあるように、B10リアパネル上のレシーバー/プリアンプ「入力」コネクタと左のメイン出力間をRCA/パッチケーブルで接続してください。
2. B10リアパネル上のレシーバー/プリアンプ「入力」コネクタと右のメイン出力間をRCA/パッチケーブルで接続してください。

注意: この構成は、2組のメイン出力がある、プリアンプ出力付のレシーバーまたはプリアンプ/パワーアンプの構成に適用されます。次の場合は、メインパワーアンプとサブウーファーの両方に同一の信号を送るためにYアダプターを使用するべきです。それは、レシーバーにプリまたはメイン出力からコネクタ内のアンプまでジャンパーが付いている場合、またはプリアンプに1組のメイン出力コネクタしかない場合です。テープ出力またはレコード出力コネクタは使用できません。

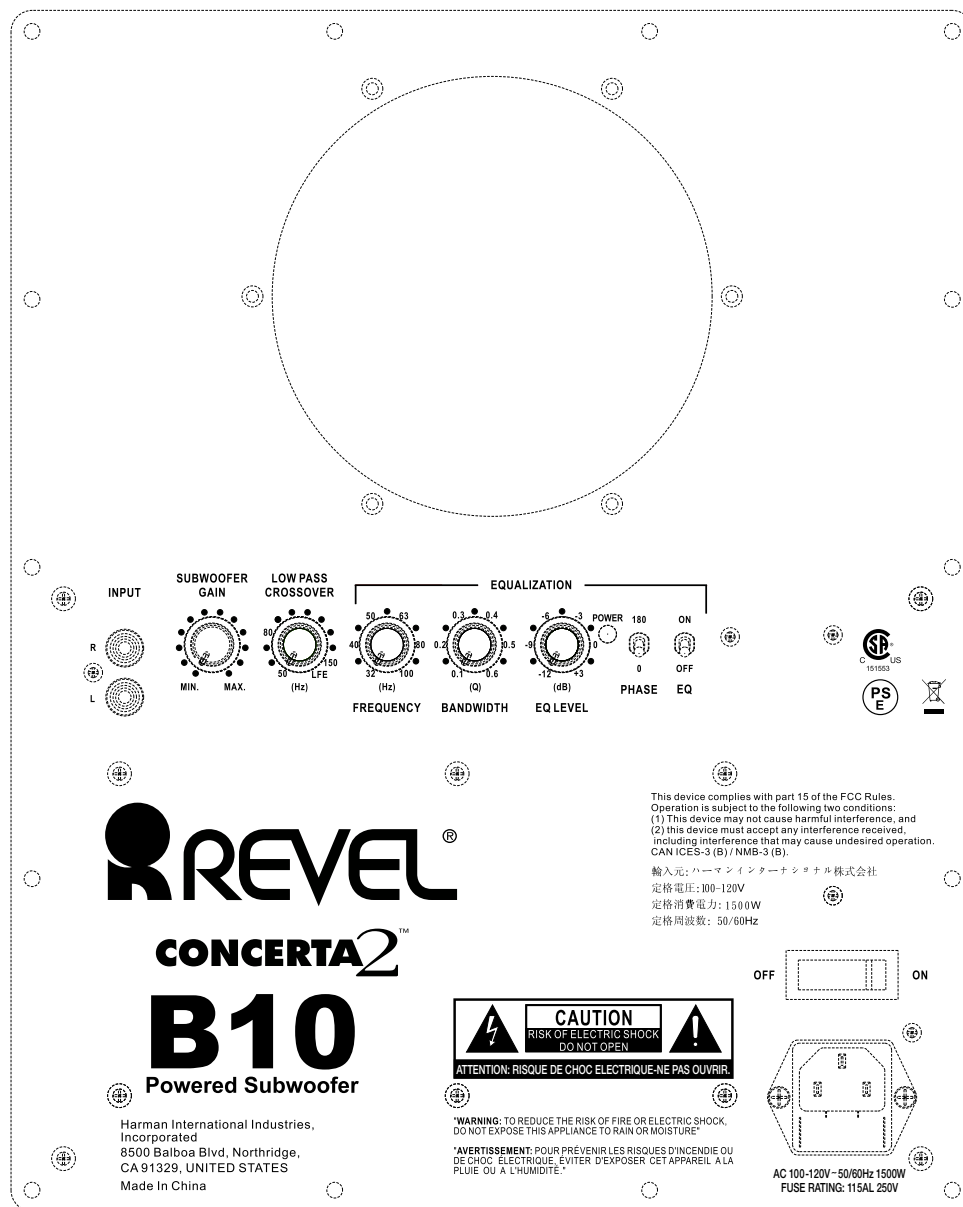


図14:リアパネル・コントロールおよびコネクタ

サブウーファースの操作

図 1 4 のように、Concerta 2 B10サブウーファースのリアパネルには全ての使用可能なコネクタとコントロールが含まれます。リアパネルの入力セクションについては、この説明書の前の方の「接続する」のセクションで説明しました。サブウーファース・コントロールについてはこのセクションで説明しました。

電源インジケータLED

電源インジケータLEDではB10サブウーファースの現在の状態を確認できます。サブウーファースには3種類の異なる電源状態があります：

レッド:スタンバイ-10分間システムからの信号が検知されない場合、B10は自動的にスタンバイモードに入ります。

グリーン: オン-信号が検知されると、直ちにB10の電源がオンになります。

ライトが消灯: オフ-主電源スイッチがオフポジションか、またはユニットのプラグが外れています。

ローパス周波数コントロール

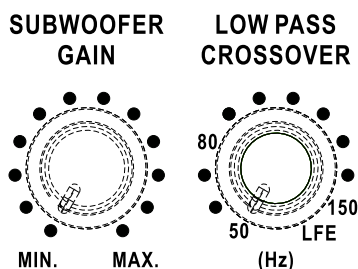


図15:リアパネル・コントロールおよびコネクタ

50Hz～150Hzの可変式ローパス・クロスオーバーを調節して、B10がサウンドを再生する際の最高周波数を決定してください。特定の低周波サウンドをなんなく再生できる、より大型のメイン・ラウドスピーカーを使用する場合は、クロスオーバーを50Hz～100Hzの間の低周波設定にしてください。

さらに低周波に設定すると、B10サブウーファーは現代音楽と映画のサウンドトラックに必要な深みのある低音の再生に専念します。より低いバス周波数まで伸びない、小型のブックシェルフ型ラウドスピーカーの場合は、クロスオーバーを100Hz～150Hzの間のより高周波に設定してください。

周波数コントロールの設定が高すぎる場合、低音は「ブーミー」に聞こえ、リスニングルーム全体のサウンドがオーバーパワーになっている可能性があります。周波数コントロールの設定が低すぎる場合、特定の低周波サウンドが聴き取りづらくなる、または完全に欠落することがあります。

注意:このコントロールはシステムのメインスピーカーの周波数帯域に限定されません。ローパス周波数コントロールを調節する目的は、確実に全周波数を再生し、サブウーファーとメインスピーカー間の部分的な重複を最小限にすることです。サブウーファーとメインスピーカーを同一の周波数で再生することは避けるべきです。その周波数が偶然同相になる場合、もう一方は逆相になるのでキャンセルされて、特定の周波数が補強されるため、結果的に不規則なレスポンスになるからです。「LFE」に設定する場合、クロスオーバーはバイパスモードになり、全てのクロスオーバー設定はプロセッサまたはAVRによって設定します。

位相スイッチ



図16:位相スイッチ

フロントスピーカーに対するサブウーファー出力の絶対位相を補正します。特定の関連電子装置により、絶対位相が逆になることがあります。このスイッチを使用してそうした現象を補正します。適切な位相調整はサブウーファーの設置位置やリスナーのポジションといった可変要素によっても決まることがあります。図16にあるように、このスイッチを使用して、基本的なリスニング・ポジションでのバス出力を最大化します。

- 0°設定を選択すると、B10の入力時の位相(0度)音響出力を設定します。
- 180°設定を選択すると、B10の入力に対する音響出力が逆(180度)になります。

イコライゼーション・コントロール

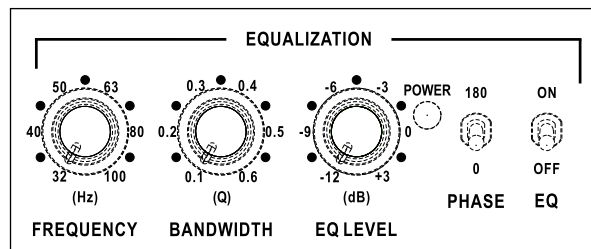


図18:イコライゼーション・コントロール

特定のリビングルーム向けにサブウーファースのレスポンスを最適化します。パラメトリック・イコライザーには図18にあるように、周波数、帯域幅、レベルの調整が含まれます。

注意: イコライゼーション・コントロールを適切に調節するには、特別な測定装置が必要です。Revel公認販売店は、確実に最適な結果を出す適格な装置を使用して、適切な測定をすることができます。これらのコントロールを使用するには、まずEQスイッチを「オン」にセットする必要があります。

電源スイッチ

AC入力コードから電源を接続、または接続を切ります。断続的に使用する間は、電源スイッチはオンのままにしておくことができます。長期間使用しない場合は電源スイッチをオフにします。

定期的な手入れとメンテナンス

B10キャビネットの仕上げには定期的なメンテナンスが必要ありません。しかし、指紋、ほこり、またはその他の汚れが付いたキャビネットの表面は柔らかい布で掃除することができます。キャビネットまたはグリルには、いかなるクリーニング用製品または研磨剤も使用しないでください。

仕様書

B10サブウーファー

周波数特性	+/-0.5dB パスバンド内
低域特性	35Hzで-3dB
可変範囲(無響)	32Hzで-6dB 29Hzで-10dB
最大アンプ出力	20Hz~150Hz 0.1%未満 THD, 800W, 1500ピーク
ローパス・クロスオーバー	50Hz ~ 150Hz, 24dB/octave、連続可変周波数
所用電力	100~120V, 50/60Hz 220~240V, 50/60Hz, 7AMP
消費電力	0.5W(スタンバイ時)
高さ	16.45インチ(41.8cm)、脚を含む
幅	14.83インチ(37.7cm)
奥行	15.45インチ(39.2cm)グリルを含む
重量	47ポンド(21.3kg)

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

Торговая марка:	Revel
Назначение товара:	Активная акустическая система
Изготовитель:	Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стамфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения:	Китай
Импортер в Россию:	ООО Внешторг-Юг, Россия, 171640, Тверская область, г.Кашин, ул. Карла Маркса, д.57А
Гарантийный период:	1 год
Информация о сервисных центрах:	http://absolut-audio.ru/Servis/ тел. +7 (495) 995-10-80
Срок службы:	5 лет
Срок хранения:	не ограничен
Условия хранения:	Стандартные при нормальных значениях климатических факторов внешней среды
Номер документа соответствия:	Товар сертифицирован
Дата производства:	Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY0000000, где «М» - месяц производства (А - январь, В - февраль, С - март и т.д.) и «Y» - год производства (А - 2010, В - 2011, С - 2012 и т.д.).



ハーマン・インターナショナル株式会社 (HARMAN International, Incorporated)
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

© 2015 HARMAN International, Incorporated(ハーマン・インターナショナル株式会社)。無断複写・転載を禁じます。

RevelおよびRevelロゴは、ハーマン・インターナショナル株式会社(HARMAN International, Incorporated)の登録商標で、米国および/またはその他の国々で登録されています。

NomexはE. I. du Pont de Nemours and Company(イー・アイ・デュポン・ド・ヌムール・アンド・カンパニー)の登録商標です。

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

弊社製品に関する質問、サポート、または追加情報については次の番号に
お電話ください:(888) 691-4171テクニカルサポートについては、問い合わせの詳細を次のアドレスに送信し
てください: csupport@harman.com.

